

## 令和4年木造建築士試験 「設計製図の試験」標準解答例の公表について

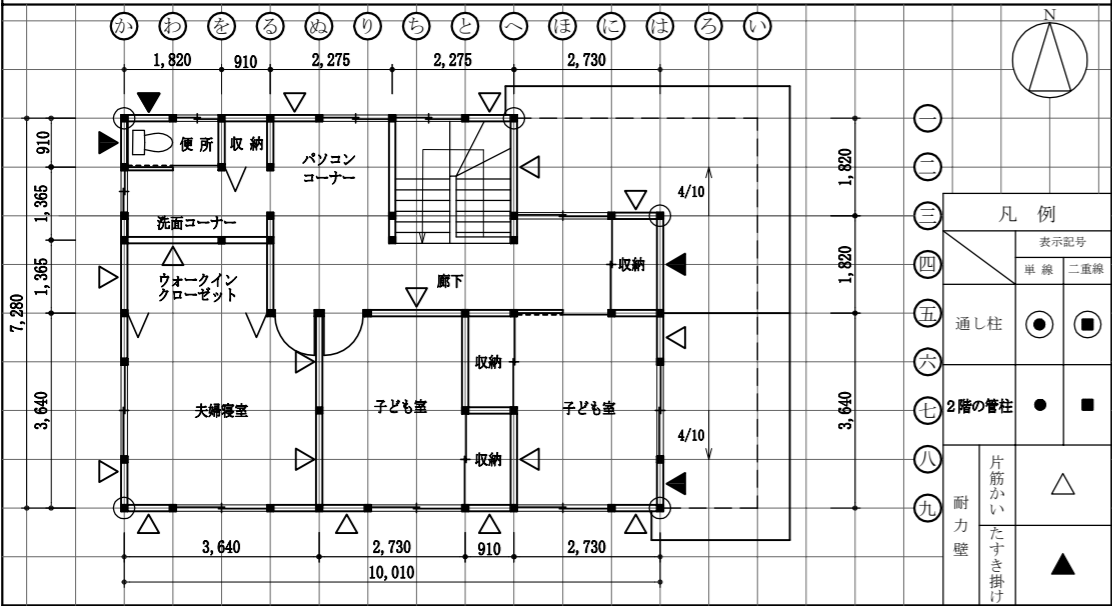
令和4年10月9日（日）に実施されました標記試験の標準解答例（合格水準の標準的な解答例をいう。）を下記のとおり公表します。

木造建築士試験は、建築士法第13条及び第15条の6の規定に基づいて、全国47都道府県の指定試験機関である当センター（理事長 井上 勝徳）が実施しています。

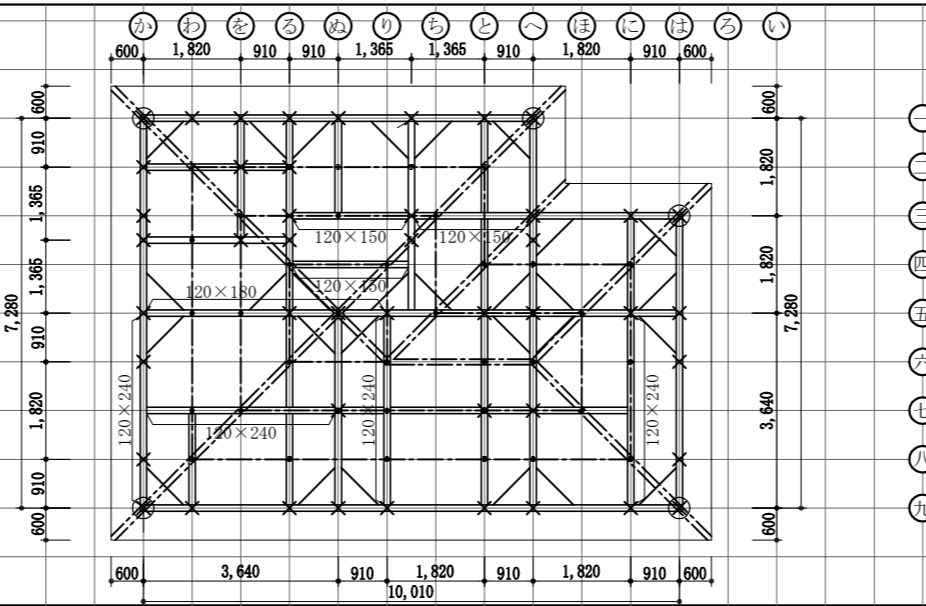
### 記

1. 標準解答例は、試験の透明性を高めるとともに、建築士を志す者に対して、習得すべき知識及び技能（木造建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総合的な知識及び技能」をいう。）の目安を示す資料として、当センターに設置された試験委員会で作成されたものです。この標準解答例は、インターネット上の当センターのホームページ（URL <https://www.jaic.or.jp/>）に掲載します。なお、標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。
2. 柱杖<sup>はしらづえ</sup>図及び矩計図については、公表することにより、解答パターンが定型化するなど、適正な試験実施に影響を及ぼすことが想定されることから、公表しておりません。
3. この標準解答例を転載・複製等する場合は、当センターの許諾を得てください。
4. この標準解答例に対する質問・問合せについては、一切お答えいたしません。

2階平面図 縮尺 1/100 (1目盛は9.1mmで半間=3尺を表す。)

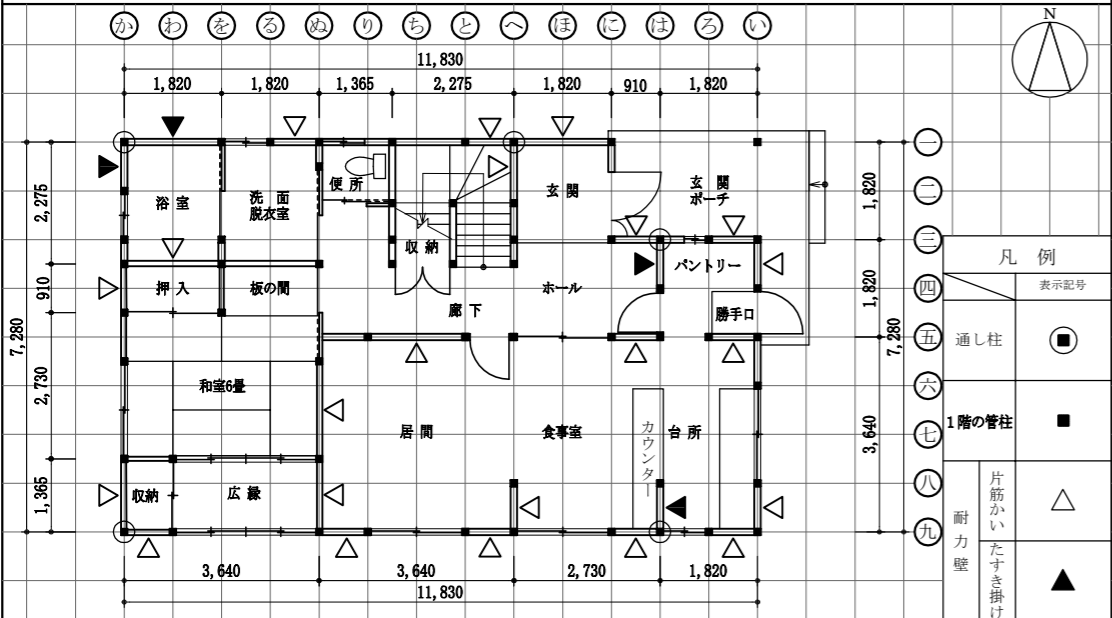


2階小屋伏図 縮尺 1/100 (1目盛は9.1mmで半間=3尺を表す。)

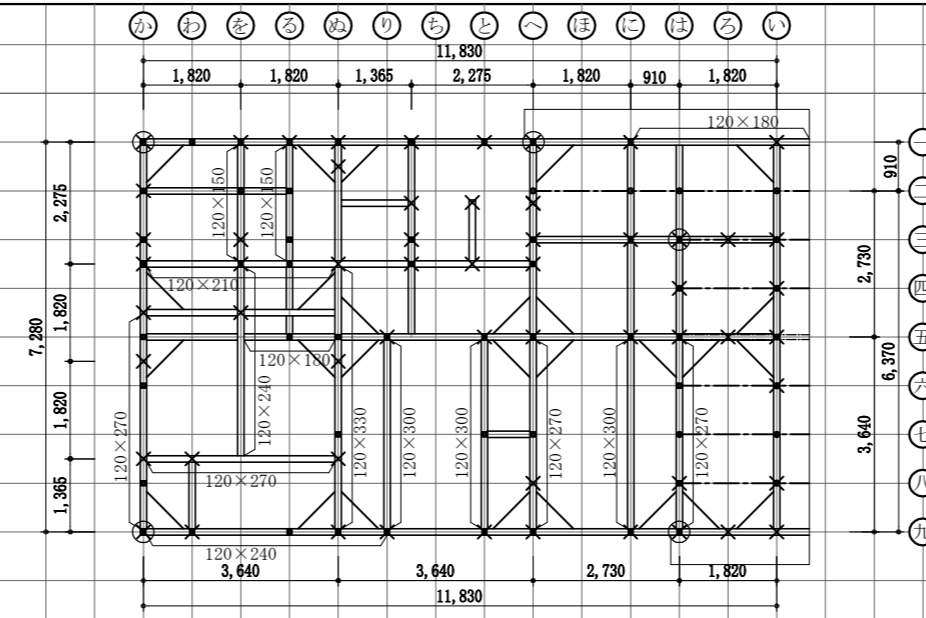


凡例	表示記号		断面寸法 (mm)
	単線	二重線	
通し柱	●	■	
2階の管柱	×		
桁・小屋梁 (正角材)	—	—	120×120
(平角材)	—	—	図中に記入
(丸太材)	—	—	図中に記入
火打梁	—	—	90×90
棟木・小屋束	—	—	90×90
母屋・小屋束	—	—	90×90
屋根仕上げ	ガルバリウム鋼板		
屋根勾配	4/10		

1階平面図 縮尺 1/100 (1目盛は9.1mmで半間=3尺を表す。)

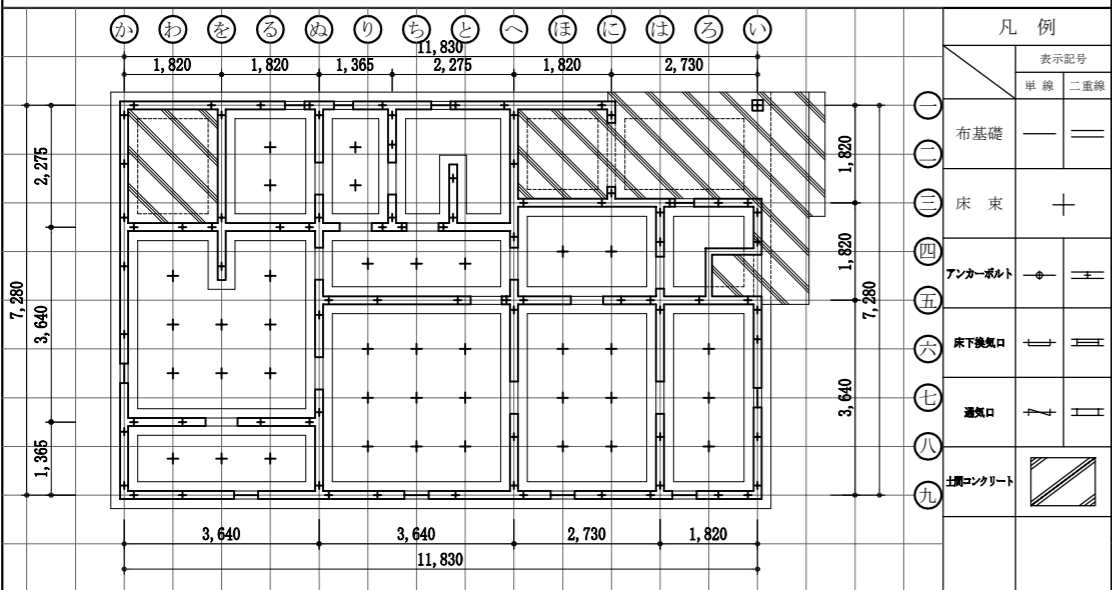


2階床伏図兼1階小屋伏図 縮尺 1/100 (1目盛は9.1mmで半間=3尺を表す。)

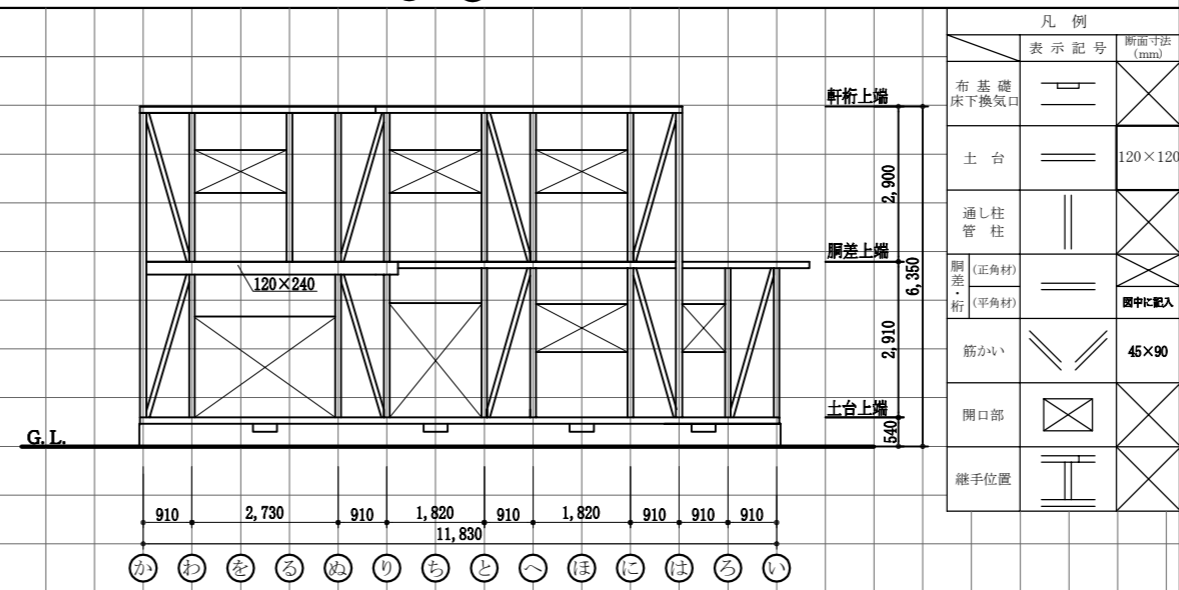


凡例	表示記号		断面寸法 (mm)
	単線	二重線	
通し柱	●	■	120×120
1階の管柱	×		105×105
2階の管柱	●	■	105×105
1階と2階が重なる管柱	×	×	
桁・小屋梁 (正角材)	—	—	120×120
(平角材)	—	—	図中に記入
(丸太材)	—	—	図中に記入
火打梁	—	—	90×90
棟木・小屋束	—	—	90×90
母屋・小屋束	—	—	90×90
屋根仕上げ	ガルバリウム鋼板		
屋根勾配	4/10		

基礎伏図 縮尺 1/100 (1目盛は9.1mmで半間=3尺を表す。)



軸組図 (南側外壁面丸通り (㉒~㉑)) 縮尺 1/100 (1目盛は9.1mmで半間=3尺を表す。)



凡例	表示記号		断面寸法 (mm)
	単線	二重線	
布基礎	—	—	
床下換気口	—	—	
土台	—	—	120×120
通し柱	—	—	
管柱	—	—	
胴差 (正角材)	—	—	図中に記入
桁・小屋梁 (平角材)	—	—	図中に記入
筋かい	—	—	45×90
開口部	—	—	
継手位置	—	—	

主要構造部材表 [木拾い書]

2階床伏図兼1階小屋伏図における胴差、2階床梁、桁及び1階小屋梁について、平角材、丸太材の木拾いを行い、下欄に記入すること。なお、正角材は木拾いを行わずによい。

	断面寸法 (mm)			断面寸法 (mm)			断面寸法 (mm)		
	断面寸法 (mm)	定尺長さ (mm)	本数	断面寸法 (mm)	定尺長さ (mm)	本数	断面寸法 (mm)	定尺長さ (mm)	本数
胴差	120 x 330	6000	1	120 x 240	4000	1			
	120 x 300	4000	3	120 x 210	4000	1			
2階床梁	120 x 270	5000	1	120 x 180	4000	1			
	120 x 270	4000	3	120 x 180	2000	1			
桁	120 x 270	4000	3	120 x 150	3000	2			
	120 x 240	5000	1						
1階小屋梁									

標準解答例

- 標準解答例は、試験の透明性を高めるとともに、建築士を志す者に対して、習得すべき知識及び技能（木造建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総合的な知識及び技能」をいう。）の目安を示す資料として、当センターに設置された試験委員会で作成されたものです。この標準解答例は、インターネット上のセンターのホームページ (URL <https://www.jaenic.or.jp/>) に掲載します。なお、標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。
- 柱杖図及び矩計図については、公表することにより、解答パターンが定型化するなど、適正な試験実施に影響を及ぼすことが想定されることから、公表しておりません。

個人利用の目的以外には、当センターに無断で転載・複製することを禁じます。